

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 地域でくらす会	理事長	井上 徹	法人・事業所の特徴	いくのさん家の理念 <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係性こそ、その人らしさ</li> <li>・どう生きたいか、に立ち返る</li> <li>・ひとりの支援は、地域を変える</li> </ul> この理念をもとに、高齢者が自分らしく生活できるよう支援していきたい。そのために住み慣れた地域での社会生活が孤立してしまわないように信頼関係を作り、関係を深めていきたい。施設の中で支援をするだけでなく、家族や地域・医療など本人を取り巻く様々な関わりが途切れてしまわないように努力する。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 大郷いくのさん家	管理者	瀧村 篤		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所評価で全職員で検討した計画を再度具体的に練り直す(別紙参照)</li> <li>・出来ている点についても検証をするために一覧表を作成してみる(事業所自己評価表を使用)。</li> <li>・3ヶ月に1度進捗状況を検証する。毎月の会議で時間をとって多くの職員で確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画を練り直し、全職員で検討することができた。</li> <li>・一覧表を作成したが、出来ている点について検証することができなかった。</li> <li>・3ヶ月に1度という頻度で検証はできなかったが、1年で2回検証することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所評価がわかりにくかったのもう少しまとめてほしい。</li> <li>・書類だけ見ても分からない事が多い。それに評価についてもう少し説明してほしい。</li> <li>・見えてこないの“わからない”としてしまう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所評価はもっとまとめて読みやすくする。</li> <li>・評価については事前の説明をもっと適切に行う。</li> <li>・運営推進会議ではサービス評価の改善状況についても報告や相談をする。</li> <li>・長期的な目標について達成できるように、短期目標の達成を積み上げられるようにミーティングや会議を活用する。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関のセンサーや扉の鍵などを確認することはもちろん、出てしまったときの事を想定して訓練をしておく。また近隣の協力を得られるように事業所はお願いをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徘徊について訓練をすることはできなかったが、近所の方に情報提供して、実際に連絡をしてもらうことがあり、有事にならずに済んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この項目に関してはいいことはいらないと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の環境を継続する</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間行事で地域に出向く計画を作成する。</li> <li>・他事業所のように趣味などを通して地域と繋がれるようなケアプランを作成する。そのために“私の暮らしまとめシート”</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画を立てたが、実行する際に変更となり、自己完結になってしまった。</li> <li>・私の暮らしまとめシートはすこしずつだが詳しくなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・“わからない”という意見もあるので、これも見えてこないのだと思う。</li> <li>・まだ知名度は低いと思う。</li> <li>・一生懸命やっておられると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年の計画を継続して、もっと地域に見知ってもらえるようにする。</li> </ul>

	(居宅サービス計画書に代わる物)をもっと詳しく作成する。			
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎で自宅周辺のゆかりのあるところを通ってみる。会話の中で本人の暮らしをうかがい知ることができる。</li> <li>・吉方温泉町にある共生ホームを活用して地域へ出向いて地域資源を見つけたり地域のことを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暮らしを知るために色々な話ができる。</li> <li>・共生ホームの活用や地域へでることができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見えてこない部分が多いので閉じ込めになっているのでは？と感じる。</li> <li>・他の事業所に比べると外出頻度が少ないと感じる。他の事業所は運営推進会議の時にスライドなどで行事の様子などが分かる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘の通り外（地域）へ出ることを意識して支援に取り組み、閉じ込めにならないようにする。</li> <li>・地域の方にもう少し認識してもらえるように工夫する。</li> <li>・ケアプランの積み重ねを大切にし、利用者さんの〇〇したいの実現に取り組む。</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域へ出掛けてレクリエーションをする。地域の人にも参加してもらえるような企画をして回覧板などで周知してもらう。</li> <li>・地域課題の話は難しいこともあるが、運営推進会議が施設の事だけを話す場にならないように事務局は配慮をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頻度は少ないが、地域にある団体と協力してサロンを開催することができている。</li> <li>・事例検討が主になってしまい、施設のことが中心の会議になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での取組みというのが分かりにくい。</li> <li>・地域の心配な方などの事例検討というのはなかなか難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議で事例検討を通してもっと色々な方と関れるようにする。</li> <li>・利用者さんの地域の方への働きかけを継続する（挨拶や協力：見守りや施設への連絡などの依頼）。</li> <li>・不定期の参加でも良いので利用者さんのご家族に会議への参加をお願いする。</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に機能できるように避難訓練の内容を住民と一緒に考える。</li> <li>・湖南地区での過去の災害の事などを調べて備えを試みる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の住民、地区の消防団と一緒に計画、実施ができている。</li> <li>・災害について調べることができていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やはり実際の取り組みが見えてこない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年の計画を継続する。</li> <li>・防災計画について誰でも見れるように計画書を掲示または設置をする。</li> <li>・備蓄について考える。</li> </ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 2 日 (18 : 00～ 18 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 11 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていな い	ほとんど できていな い	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	9 人	2 人	人	11 人

前回の改善計画	
②必要としている支援ができていますか?	→ 最初の段階でわたしの暮らしまとめシートをもっと詳しく書いてもらえるようにする。また、会話の中で知り得た情報は当事者がシートに記録する。そうすることで”その人らしい”生活を理解して支援につなげる。
③声掛けや気遣い	→ 利用前に必ず見学に来てもらう。事業所の様子をみてもらい不安が解消できるように話し合う。まずは訪問で介護職員が接する機会をつくる。
④関係作り	→ もっと家族会を充実させる為に、回数を年 2 回から 3 回に増やす。また内容をご本人と家族、職員又は職員と家族と分けて開催をする。管理者が計画し、6 月、12 月、3 月に開催する。
前回の改善計画に対する取組み結果	
②担当者	は記録用紙に暮らしまとめシートをはさんでおき、全職員が気付きや変化を記入している。ケアプランが変更になる時は必ず更新している (半年に 1 回以上)
③見学	してもらえようように声を掛けている。見学に來れない場合は訪問をして、最初の関わりをもつようにしている。訪問を重ねて利用をスムーズにしているケースもある。
④家族	を交えての行事は年に 2 回にとどまってしまった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていな い	ほとんど できていな い	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	8	2		11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	7	1		11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	1	10			11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	8	2		11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用開始時に本人さんの状況・情報を資料から得る。</li> <li>・利用前に本人について (基本情報) などを開示してもらっているので共有はできている。</li> <li>・本人家族双方の困っていることから改善できるよう支援できている。</li> <li>・職員によって配慮が足りないところあると思うが、スタッフ間で確認しながら対応できている。</li> <li>・通いでも本人と相談しながら無理がないように過ごしてもらえている。</li> </ul>	

- ・話をしたり、ノート（お通い帳）を利用しながら情報交換できている。
- ・分からないことはミーティングで相談できている。
- ・本人・家族の思いを受け止め、その思いに対してできるだけ真摯に対応しようと心掛けている。
- ・利用開始前にどのようなサービスが必要か、または希望を持っているかをアセスメントし、それに沿ったサービスを提供しようと対応している。
- ・明るく元気よく声掛けをしたり、話を聞いたりしている。
- ・利用開始前に情報を収集するようにし、アセスメントができるように気にかけている。
- ・必要な支援が出来る様に相談などしている。
- ・本人と家族との関係づくりは力を入れるようにしている。
- ・最初は無理をしないように心掛けている。
- ・家族と話す時間を作るようにしている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・本人の希望する支援がなかなかできていない。
- ・ミーティングで話し合うまではできていない為、職員により把握できているかどうかバラつきがある。
- ・声掛けや気遣いなどスタッフによってバラつきがある。
- ・利用開始前の利用者さんの情報に対して全体のミーティングを行っていない。
- ・介護者の情報が違っていたことがあり、どう支援したら良いのか分からないことがあった。
- ・利用が急な場合は情報が把握しきれず、その都度確認する作業をしている。
- ・本人が慣れていない分、気遣いしようとするがそれが本人の支援なのか分からない。
- ・利用開始が早く、十分なミーティングや情報の共有ができていないことがある。
- ・本人の情報不足でコミュニケーションがしっかりとれない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

(どうしてできていないのか？その理由)

- ・本人の希望していることが中々読み取れていない。
- ・見た、読んだ、が分かっていない。(記録を見ただけで内容を理解していない)
- ・利用が始まった人に対してどう接するのが分からない。
- ・認知症や意欲低下などで本人の希望が読み取れていない場合があり、介護者・家族の希望となっている。
- ・全体のミーティングは利用後からでも良いと思っている。
- ・実際の支援を行ってからでないと分からない、気づけない情報があり、利用開始前の情報は不確定な要素が多い。
- ・自分自身に自信がない。
- ・余裕がない(時間がない)。
- ・情報に確実に目を通すことを省いたり、ミーティングの大切さを理解できていないことがある。
- ・勤務に偏りがあるので、把握できない。

改善計画

- 自宅での生活を知るために訪問サービスを活用し、普段の生活をもっと知ることができる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 3 日 (18 : 00~18 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていな い	ほとんど できていな い	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	5人	1人	11人

前回の改善計画
①ご利用者の短期・長期目標がわかっていますか? → ご利用者の長期目標(ゴール)の一覧表を作成し、1枚で分かるようにする。その紙を職員が常に目にするような場所において置く。
②～したいがわかっていますか? → “したいシート”を有効活用する。毎月の会議で担当者が挙げていき、シートを充実させる。また会議で話すので “～したいこと”を職員同士で共有できる。
③日々の関りができていますか? → “したいシート”をもとに実現する為のケアプランを会議や朝礼のミーティングで発表し、記録する。担当者が責任者となり、他の職員は協力をする。
④ミーティングでの発言、振り返り、次への対応にいかせていますか? → 日々の気付きをきちんと支援経過や“したいシート”に書き留める。決めた事や実践したことはミーティングを活用して適宜確認をする。会議では振り返りや次への対応を担当者が発表する。
前回の改善計画に対する取組み結果
①1枚で分かるような一覧表は作成していないが職員が常に手に取りやすい場所におくなどの対応はしている。
②職員によってバラツキがある。(分かっている人と分かっていない人がいる)
③人員や時間が足りず、なかなか個々の“したいこと”を実現できずにいる。
④“～したいシート”ではないが、利用者の希望や現状をボードを活用して、ミーティングの時に議題としてあげて、話し合いをすることができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていな い	ほとんど できていな い	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	7	3		11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	7	3		11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		2	9		11
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		6	5		11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・本人が「～したい」と思っていることをなるべく時間を使ってやっている。
- ・ケアマネに相談しながら本人の思いに沿った過ごし方などを教えることはできている。

- ・接している中で「したいこと」を訪ねるようにしている。
- ・「したいこと」が明確な人や実行に移しやすい人は実践できている。
- ・レクリエーションの時間を利用して実現している。
- ・畑づくりや地域の行事やクラブ活動などに参加している。
- ・帰宅に向けたリハビリを日々の生活に取り込んでいる。
- ・各利用者の「～したい」は聞いている。
- ・各利用者の目標はつづることが出来ている。
- ・自分の担当者の目標は理解している。
- ・各担当者と相談しながら支援している。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・全ての利用者さんの「～したい」と思っていることが出来ていない。
- ・施設外の活動だったり、人手や時間がかかることは実践できていない。
- ・やりたいことを実践できていない人もいる。
- ・継続した実践ができていない。
- ・自立支援に向けた取り組み（脚力低下防止）を日々のレクリエーションに取り入れられていない。
- ・誰でもできそうなレクリエーションをしてしまう。
- ・レクリエーションができない利用者を見守りのみにしてしまう。
- ・自己主張がない人やできない人のしたいことがはっきりとしない。
- ・個別対応のレクができていない。
- ・ミーティングで積極的な発言ができていない。
- ・ミーティングをしっかりとしていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

どうしてもできないのか(その理由)

- ・1人ではたくさんの利用者さんをみることはできない。
- ・個別ケアをする時間がない。
- ・関わった人や場所などを記録に残せていない。
- ・予定外の訪問で人手が不足してしまう。
- ・能力不足。
- ・通いにおけるレクリエーションをすることに対しての意義の認識不足。レクリエーションをすることが先にあり、支援をするためにレクリエーションがあることに気付いていない。
- ・担当職員が担当利用者をどう支援し、実行していくかにバラつきがある
- ・個々の「～したいシート」を把握できてない。
- ・休憩時間でさえも記録に追われている状態。
- ・つづったシートに目を通すことができていない。
- ・自ら理解しようとしていない。(シートをみる、やりたいことを知ろうとする)
- ・ミーティングをするにしても人が少なく、良い意見や話し合いができない。

改善計画

- 午前中にゆっくりと時間をとり、各利用者の「～したい」を聞ける、気が付けるようにする。聞いたことはしっかりと記録し、ミーティングなどで活用し、ケアプランにつなげる。
- ケアプランの長期・短期目標に向けた実践をレクリエーションに盛り込む。やりやすいように一覧表を作成する。
- ミーティングを行う習慣を身につける。ホワイトボードなどを活用し、即時的に共有できるようにする。ミーティングは2人以上の参加で可能とする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 3 日 (18 : 30~19 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていな い	ほとんど できていな い	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか？	人	10人	1人	人	11人

前回の改善計画	
<p>①ライフサポートプランをもっと上手く活用する。 → 気付きを記録として残す。始めは自分の担当するご利用者を中心にやってみる。 情報共有用のわたしの暮らしまとめシートを分かりやすいように色付きの紙にする。用意した紙に直接気付きを書き込んでいく。</p> <p>③支援経過記録や“したいシート”を活用する。 → 職員が個々でくみとった希望や要望など暮らしの意向を記入する。</p> <p>④⑤ 朝のミーティングで変化や気付きを発信する。 → ホワイトボードに話し合いたい事を書き込む。毎朝のミーティングで日誌担当者や管理者などが進行役になって話し合いをすすめる。</p>	
前回の改善計画に対する取組み結果	
<p>① 暮らしまとめシートへの記入がケアプラン更新の時期だけになりがちであった。即時的な変更、更新が できている。</p> <p>③・④・⑤ 支援経過やホワイトボードへの記入はできるようになっている。</p>	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていな い	ほとんど できていな い	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		4	6	1	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	3	8			11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		4	6	1	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	2	8	1		11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	3	7	1		11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・本人さんの様子の変化などいつもと違うと思うことは他のスタッフに声を掛けている。
- ・日々の様子や変化など、支援経過の記入やミーティング、連携で早めの対応ができています。
- ・利用者一人一人に対して以前の暮らしシートを作成し、いつでも見られる環境を整えている。
- ・本人の体調、嚙下状態を把握しながらその都度適したサービスを提供している。
- ・ホワイトボードに声にならない声を記入し、毎朝のミーティングで議論し、日々の介護に反映している。
- ・主に担当者が中心となって体調の変化やそれに対する対応などを日々更新している。
- ・体調の変化に気付いたら主治医や家族へ速やかに連絡相談ができています。
- ・以前の暮らしシートは支援経過に入っているのでもいつでも見ることが出来る。
- ・記録を見ることで適宜状況に合わせた介護ができています。
- ・体調の変化は密に連携、観察し、気づきを支援経過に残すようにしている。
- ・会議できめた支援方針をミーティングやモニタリングをする時に話ができている。
- ・常にミーティングにあげ、話し合いができている。また記録に残して共有できている。
- ・体調の変化に気付いた時は主治医やナースにすぐ連絡をとり、相談している。
- ・感じたことをミーティングで共有できている部分もある。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・本人さんが本当に何を思っているのかを分かるのは難しい。
- ・本人の声にならない声をくみ取ることは難しく、まして言語にするというのも難しい。
- ・全ての利用者に対して均一なサービスを提供できていない。
- ・全ての利用者の以前の暮らしを10個把握できているとは言い難い。
- ・職員の気づきや感じたことなど支援経過に明記することがまだまだ足りないと思う。
- ・以前の暮らしをシートに更新できていない。
- ・介護過多になってしまうことがある。
- ・細かい変化に気付くことができない。
- ・本人の体調変化に合わせて介護方法を変えている。
- ・言語化できない。
- ・全ての利用者の把握はできない。
- ・気付いた時に都度共有するのはできない。
- ・気づきや変化をミーティングで言語化できず、そのまま支援している。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

どうしてできないのか？(その理由)

- ・本心をどこまで出してくれているのか分からない。
- ・職員一人一人の能力差異レベルアップのための講習や研修など事業所単位であまり行われていない。個人の意思で参加しているため、向上心のある者となない者の差がでてしまう。
- ・日々の観察、考察などを言語化できずにいる。
- ・一人一人職員の能力差異で明記できる人と出来ない人がある。
- ・全ての利用者の以前の暮らしを10以上把握するのは膨大(せめて自分の担当者については把握したい)。
- ・基本情報やアセスメントをしっかりと行う。
- ・数字や言葉ばかりをみて、表情や症状に目を向けていない。
- ・覚えることがたくさんありすぎて余裕がなく、ゆっくりと話をする時間がとれない。
- ・気づきをミーティングであげるのを忘れてしまう。
- ・細かく把握しようとする余裕がない。
- ・声にならない声がわからない。
- ・以前の暮らしより今の方を大切にってしまった。

改善計画

- 新人職員でもライフサポートプランが理解できるように管理者が説明をする。
- 支援経過から気づきをくみ取っていけるように日誌担当者がその日の利用者1人ずつの気づきを記入して、ミーティングに活用できるようにする。
- 2人以上いればミーティングが可能であると自覚する。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 2 日 (18 : 30~19 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていな い	ほとんど できていな い	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	5人	1人	11人

前回の改善計画	
<p>①生活スタイル・人間関係を理解していますか? → 全員を覚えるのは難しい。基本情報や関りシートを利用して記録した物をいつでも見られるようにファイルに入れておく (おき場所を決め毎日A勤がファイルで管理をする)。</p> <p>③利用時間以外の生活を把握していますか? → 訪問サービスを利用していないご利用者の生活はよく分かっていないので、担当者はできるだけ自宅に訪問させてもらい、自宅や部屋で生活も教えてもらう。計画作成担当者は訪問日をサービス提供に反映させる。</p> <p>④地域資源を把握していますか? → 職員は“わたしの暮らしまとめシート”に日々の出来事を記録として残していく。 職員はご利用者と一緒に公民館で行われている事業に参加または見学をする。地域の方との交流を通して地域資源を把握する。</p>	
前回の改善計画に対する取組み結果	
<p>① 暮らしまとめシートを支援経過の常に見えるファイルに入れて管理できている。</p> <p>② 送迎などの時に家族に聞き取りしたり、通いを利用していない時に訪問することができることもあった。</p> <p>③ 公民館の囲碁サークルに参加させてもらい、名前や顔を覚えてもらうことが出来た。</p>	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていな い	ほとんど できていな い	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		6	5		11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	6	4		11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		3	8		11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			10	1	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の担当者についてこれまでの生活スタイルなどを理解している。</li> <li>・地域とのつながりが途切れないように地域資源を探している。</li> <li>・家族・介護者との関係は途切れないように連絡をとることが出来ている。</li> <li>・本人・家族に聞き取り、なるべく周辺情報の理解に努めている。</li> </ul>

- ・本人の自宅での様子など送迎の時に家族に教えてもらっている。
- ・生活スタイルは記録で理解できている。
- ・本人の地域の方と関わるような支援やふるさとに訪ねることが出来ている。
- ・ゆかりのある人たちと関わる事ができている。
- ・事業所だけで完結しないように地域にも目を向けていくように気を付けている。
- ・地域とのかかわりは大切にしている。
- ・途切れていた関係を繋ぐ事ができたこともある。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域とつながれない。
- ・担当以外についてはほとんど把握できていない。
- ・民生委員や地域の資源も把握できていない、民生委員を知らない。
- ・人や地域によって資源が限られてしまう。
- ・本人さんの自宅がある地域とのかかわりが、あまり分かっていない、希薄になっている。
- ・本人と地域を結びつける支援を行えていない。
- ・1人1人の民生委員までは把握できない。
- ・人間関係を知らないことが多い。
- ・本人からの話でしか分からない。
- ・本人が知らない人のことまでは分からない。
- ・利用時以外の過ごし方、暮らし方に必要な地域資源を把握しようと思うだけでできていない。
- ・しようと思っても資源が見つけれない、ほとんどない人もある。
- ・地域資源を把握できていも、そこからの行動がおこせていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

どうしてもできないのか？（その理由）

- ・事業所だけの支援で精一杯になってしまう。
- ・家族との関係ばかり大切にしまっている。
- ・地域に目がいかない。
- ・通いで来ていることが多く、地域の人とふれ合うこと時間が少なくなってしまう。
- ・地域が広範囲であるために人員配置的に運営が難しくなってしまう。
- ・実践するにはサービス実施対象地域をもっと縮小しなければ対応できない（対象が広いと移動だけでも時間をとってしまう）。
- ・把握する時間を作るように自分の中に余裕がない。
- ・余裕がない。
- ・人や地域によって資源が限られてしまう。

改善計画

○月に1回開催している事業所の行事で、地域の活動やサークルと連携できるように取り組む。各月の担当者が企画して、地域の人と交流をする。行事内容は必ず地域の人に関わってもらえるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 2 日 (19 : 00~19 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていな い	ほとんど できていな い	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	2人	人	11人

前回の改善計画	
①地域の資源を使って支援していますか? → 職員は空き時間などを利用して地域にある公民館で催事を調べる。担当職員は計画を立てて地域へ出掛ける。 → 事業所でイベントを開催して、ご家族も参加できることを地域連携係が企画をする。また地域の方にも参加やお手伝いを回覧板などを使って呼びかける。	
③「変化」について共有できていますか? → 計画作成担当者は自宅からの生活を理解するために、訪問サービスも適宜計画をする。また、施設の職員はそこで気付いた事や予測したことを朝のミーティングや毎月の会議で確認する。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
① 利用者の趣味に合った集いがある時は参加できている。 共生ホームでの催しは毎月1回。防災訓練など地域の方にも参加しやすい行事と合わせて企画・呼びかけが できている。	
② 変化や気付きを都度記録し、ミーティングや会議に反映することが出来ている。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていな い	ほとんど できていな い	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	6	4		11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	8	3			11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	5	4	2		11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	5	1		11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調や変化に応じてその日の職員と支援内容を話し合い、変更している。</li> <li>・地域の方に積極的に声を掛けている。</li> </ul>

- ・本人や家族の希望に合った利用を提供（柔軟に変更）できている。
- ・以前に比べると記録もミーティングもできている。
- ・地域資源が使えるように気にかけて支援できている面もある。
- ・ニーズに合わせて支援できるように対応を考えている。
- ・事業所周辺の住民の方々とは頼んだり、頼まれたりと良好。
- ・家族が困っている時は早急に対応できている。
- ・毎朝のミーティングで皆さんの体調などを情報共有できている。
- ・担当職員が中心となって本人の支援の在り方を日々更新できている。
- ・食事など適宜変更できている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・大郷会館など同じ地域資源の活用となっている。
- ・地域（利用者さんにとっての地域）の資源が把握できない、活用できない。
- ・記録することを忘れてしまう。
- ・本人よりも家族の意向が重要視されてしまう。
- ・本人の意向に沿えない。
- ・自分自身は柔軟な対応ができない。
- ・関わりを記録に残すことが漏れている。
- ・気がつきが記録のこらないことがある。
- ・記録には残すがミーティング等話し合う機会が少ない。
- ・利用者の方の地域までには行けず、新しい関係は作れていない。
- ・本人ではなく、家族の要望で決まってしまうことがある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

どうしてできないのか？(その理由)

- ・時間をつくれなない。
- ・その日の利用者やスタッフの状況で難しいことがある。
- ・家族に希望されると、拒否できない。
- ・自分に余裕がない。
- ・記録に残すことを忘れてたり、口頭で伝達したことで伝えたと思ってしまい、共有することが出来ない。
- ・地域資源を把握していない。

改善計画

○利用者が以前に親交のあった友人や知人、親類などを知り、一緒に訪ねてみたりして意欲向上につとめたり、以前の暮らしを知る機会とする。

○訪問サービスを活用して、利用者宅付近を散歩する。一緒に歩くことで近所の方にも姿をみてもらったり、挨拶をすることで交流できるようになる。知りえたことは私の暮らしまとめシートに記入する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 3 日 (19 : 00~19 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていな い	ほとんど できていな い	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	5人	1人	11人

前回の改善計画
②自治体や包括支援センターとの会議に参加していますか? → 管理者が情報を収集して、職員に情報を提供する。休憩室に掲示して、職員は情報を見て参加する。
③各種機関・団体の活動やイベントに参加していますか? → 地域連携係は地域のイベントや行事を把握できるようにカレンダーを用意する。書き込みをする担当を決めて、担当者がカレンダーに書き込んでファイルで掲示する。
④登録者以外の高齢者や子供などの地域住民が事業所を訪れますか? → 地区の公民館を訪ねてサークル活動をしている人達と交流を深める。そうした交流の中から垣根のない関わりができるようにする。関ってもらえた人などは起案書に情報を残しておく。その情報を使って再度交流できるようにしておく。
前回の改善計画に対する取組み結果
②運営推進会議の記録や各種研修情報を休憩室に掲示してあり、自由に閲覧できるようになっている。また会議には職員が参加することが増えている。
③各団体の行事やサークル情報をカレンダーで一元的に分かるようにしてあり、掲示もしっかりとされている。
④年に数回ではあるが、地域の人を招いて餅つきをしたり、映画鑑賞会、七夕、避難訓練などを開催し、地域の方に参加してもらう事ができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていな い	ほとんど できていな い	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	2	5	1	3	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	2		8	11
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	1	7	2	1	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	4	5		11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・地域の子供がたまに遊びに来てくれる。
- ・役職のある人が関係各所と連携をしている。
- ・地域のお祭りや行事などに積極的に参加し、運営などにも携わっている。
- ・地域の方が集まれる行事を催したり、子供たちも遊びに来られる環境を整えている。
- ・地域のクラブ活動にも足を運んでいる。
- ・サービス担当者会議に参加し、意見交換できている。
- ・地域の防災訓練に参加できている。
- ・地域の人にイベントに参加してもらったり、イベントに呼んでもらったりできている。
- ・休みの日に親子で遊びに来てもらったりできている。
- ・研修会などの情報は多くあり、自分の興味がある研修会には参加しやすくなっている。
- ・各種イベントの情報が増えている。
- ・定期的な会議には参加している。
- ・可能な限り町内会などのイベントには参加できている。
- ・個人としては参加がないものの、事業所としては参加できている。
- ・町内の方が参加できそうな施設行事を開催している。
- ・町内の子供に積極定期に挨拶している。
- ・他施設と運動会を開催した。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・利用者さん以外のお年寄りが訪問してくることは殆どない。
- ・松原団地ではできているが、吉岡温泉まで視野を広げることができていない。
- ・開催情報を提供してもらっているが、参加するきっかけがない。
- ・自ら進んで地域のイベントには参加できなかった。
- ・子供は時々来てくれるがほかの人は来ない（来る人が少なくなった）。
- ・大人が参加するイベントがない。
- ・個人として会議（サービス機関、各種団体などとの会議）への参加がない。
- ・町内の活動しか知らない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

どうしてもできないのか？(その理由)

- ・地区の行事になかなか参加できていないのか？
- ・周知不足「たばこ家」をうまく活用できていない。
- ・近隣地区の通いの人が少ないことや利用者の身体機能の低下もあり、地区行事に参加が出来ず、交流がなくなっている。
- ・地域の方は事業所が忙しそうと思って遠慮されるのではないか？
- ・地域に出掛ける意欲が不足している。
- ・自分の意欲が少ない。
- ・以前よりイベントが少なくなった、イベントを開催する時間がなくなった。
- ・用事がない、行事も楽しくないのかも。
- ・事業所以外の会議がいつあるのか知らない。

改善計画

○公民館のサークル活動を調べて、参加させてもらったり、招待して活動を披露いただいたり、講習をしていただいたりする。そうすることで地域との交流を深める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 1 日 (18 : 00~18 : 30)

7. 運営

メンバー 11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていな い	ほとんど できていな い	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	4人	人	11人

前回の改善計画	
①事業所の在り方について → 運営についてはよく分かっていないので勉強する。職員一人一人が重要事項説明書を読んで説明できるようにする。	
③地域からの意見や苦情を反映していますか? → 運営推進会議を活用する。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
①毎月ある所内研修の仲で重要事項説明書の内容を参加職員で確認をすることができた。ただ、内容が難しく、1度では理解が難しかった。	
③地域との交流(地区行事や施設行事)を通して、合同の防災訓練のお誘いをいただいたり、一緒に畑や田んぼ作りをする事ができている。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていな い	ほとんど できていな い	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	4	5	1	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	9			11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	8	1		11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1	9	1		11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情などすぐに対応している、ミーティングで話し合っている。</li> <li>・職員同士で話し合える環境である。</li> <li>・事業所について勉強した。</li> <li>・以前よりはイベントの開催は減ったが企画をしている。</li> <li>・利用者や家族の声は伝えることが出来ている。</li> <li>・意見などは少しずつ反映できるようになってきている。</li> <li>・意見は言いやすい環境である。</li> <li>・連絡ノートも活用して意見や苦情などを共有できている。</li> </ul>

・避難訓練、草取り、納涼祭など参加し、子供向けにイベントを開催したりしている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域に必要なとされる拠点になっていない、むしろ手伝ってもらっている。
- ・積極的に地域の方と関わっていない。
- ・在り方について意見はいえない。
- ・運営について積極的に取り組めていない。
- ・運営など把握できていないことなので、意見することがない。
- ・地域の方からの意見や苦情は把握していない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

どうしてできないのか？(その理由)

- ・いろんなイベントに出られていない。
- ・地域に顔を売れていない。
- ・会う機会がない。
- ・立場でない。
- ・自分自身が真剣に運営について考えていなかった。
- ・運営推進会議の記録は毎回読むことが出来ない(時間がない)。

改善計画

- お年寄りと散歩する時はゴミ拾いも兼ねて美化活動も行う。
- 職員がもっと運営推進会議に参加出来るように勤務を工夫する。
- 施設の行事でもっと地域とかかわれるように内容を工夫する。(サークル活動をしている方にきていただいたり、施設行事で地域の方に向けた啓発活動をしたりする。)



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 1 日 (18 : 30 ~ 19 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていな い	ほとんど できていな い	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	5人	4人	1人	11人

前回の改善計画
②資格取得やスキルアップのために研修に参加できていますか? → 管理者が情報を収集して、休憩室に掲示して職員へ情報を知らせる。職員はその中から選んで研修に参加することができる。 ③地域連絡会に参加していますか? → サービス作成担当者は職員が地域の人と話す機会を得る為に、訪問サービスを増やす。外出支援で施設の近くで交流する機会を作ることで話す時間を持てるようにする。 ④リスクマネジメントに取り組んでいますか? → 職員同士で指摘をする。ヒヤリハットを活用し、指摘事項は記録に残す。
前回の改善計画に対する取組み結果
②研修情報は休憩室に掲示し、いつでも見れるようにしている。 ③訪問サービスで地域の方と交流する機会は少なかった。だが、運営推進会議や小規模多機能連絡会などに少しずつの職員だけが参加することができた。 ④意識してお互いに指摘する事ができている。ヒヤリハットを活用して話合いができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていな い	ほとんど できていな い	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	8	2		11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	1	7	2	11
③	地域連絡会に参加していますか		1	1	9	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		7	3	1	11

できている点
200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・支援経過、連絡ノート、ヒヤリハットなどを見て今後の支援について気を付ける。 ・ヒヤリハットを通じて取り組んでいる、再発防止に取り組んでいる。 ・毎月の会議で研修(所内研修)を行っている。

- ・資格をとることができた。
- ・ヒヤリハットで得た教訓を日々注意するようにしている、また他職員にも伝えている。
- ・研修の情報は多々あり、選ぶことができる。
- ・社外研修の報告書を読んで内容を知ることが出来る。
- ・リスクについて職員同士で注意し合える環境にある。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・資格取得やスキルアップのための研修に参加していない。
  - ・スキルアップのために外部の研修へ参加していない（年2，3回）。
  - ・地域連絡会は個人としては参加していない。
- 資格取得、スキルアップしていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

どうしてできないのか？(その理由)

- ・休みの日は家事を優先させてしまう。
- ・向上心不足はいなめない。
- ・職員全体が地域連絡会に行く必要はないと思っている。
- ・忙しいので、時間と心に余裕がない（日々の仕事に追われて時間の余裕がない）。
- ・参加する気持ちがもてない。

改善計画

- 施設でスキルアップにつながる研修会の機会を増やす（外部の講師に来てもらう。所内研修をもっと時間をとって内容を濃くする）。
- 研修に参加した人は記録を出すだけでなく、会議の場で報告をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 1 日 (19 : 00 ~ 19 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 11 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていな い	ほとんど できていな い	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	9 人	人	人	11 人

前回の改善計画	
<p>①身体拘束について → スピーチロックをしない。認知症がある人の言葉に耳を傾け、話し終わるまで待つ。席を立つ人の行動を抑制しない。研修で身体拘束について勉強をする。</p> <p>③プライバシーについて → トイレでの介助は時間がかかってしまうことがあらかじめ分かっているので、必要になる物は始めに準備しておいて、短時間で済むようにする。(例 着替えで露出をさけるようにバスタオル準備等) 排泄介助に関するような物品はトイレに近い場所に収納をする。 → トイレを使用していない時は少し扉を開けて、電気を消す。灯りで使用・不使用を確認する。</p> <p>⑤個人情報の管理について → 携帯電話やパソコンなど SNS 機能がある機器で私事をしない。取り扱いは事業所の方針や法令を確認し、情報の持ち出しは禁止する。</p>	
前回の改善計画に対する取組み結果	
<p>①「ちょっとまって」とつい言うてしまうことが減った。そのほかのスピーチロックは殆どない。</p> <p>③物品をトイレの近くに置く事が徹底できていないのでやるべきである。トイレ使用のルールは以前より守られている。</p> <p>⑤個人情報の管理はルールにのっとって、管理できている。</p>	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていな い	ほとんど できていな い	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	7	4			11
②	虐待は行われていない	10	1			11
③	プライバシーが守られている	2	9			11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	6		1	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	8			11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守りを基本として介護ができている。</li> <li>・身体拘束、虐待はない。</li> <li>・人権に関することは研修でも取り上げて日頃から気にして仕事している。</li> <li>・必要な人が成年後見を利用している。</li> <li>・朝のミーティングで小さな傷やあざなどでも報告する習慣ができている。</li> <li>・個人情報が流出しないように管理されている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチロックをしてしまうことがあった。</li> <li>・ノックを忘れてトイレのドアを開けてしまうことがある。</li> <li>・夜勤中（朝の起床時）にトイレの扉を開けて介助してしまうことがあった。</li> <li>・大きな声で利用者の話をしてしまった。</li> <li>・決められたルール（消灯と札替え）が守れていない。</li> <li>・メモ用紙に利用者の個人情報が書いてあることがあった。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>どうしてできないのか？(その理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人手が足りないと、つつい話しかけてしまい、スピーチロックにつながってしまう。</li> <li>・トイレの札が変わってない時がある。</li> <li>・歩行が不安定だが立って歩こうとする利用者があり、心配でプライバシー保護にかけてしまった。</li> <li>・意識不足。</li> <li>・排泄介助を流れ作業のように淡々となしてしまう為。</li> <li>・忙しくしている自分がいて、プライバシー保護に対する気持ちが薄れてしまう。</li> <li>・札を気にしないことがある。</li> </ul> <p>改善計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○個人情報が書き込まれているような書類を破棄する時は決まった場所に捨てる。</li> <li>○介助の使用しそうな物品や介護用品をトイレ周辺に置いておく。</li> </ul>	